

安全作業手順書【伸縮装置止水シート設置工】

		見積りも基準とした危険性の評価			
		重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ 軽微 (極めて小さい)	△ 重大 (かなり小さい)	× 極めて重大 (中程度)	
	△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ 中程度 (かなり小さい)	△ 重大 (中程度)	△× 極めて重大 (かなり大きい)	
	× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× 中程度 (中程度)	×△ 極めて重大 (かなり大きい)	×× 極めて重大 (極めて重大)	

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具	刷毛、カッター、ハサミ、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョウソク、安全つづみ、保護メガネ、 切創作業用手袋、重手、保護マスク

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り								
			(~なので~になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)			(A)	(B)	リスク						
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する ケーブル近接協議の内容を確認する 小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う しらすんだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 試験を伴う場合は協議日を確認して 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1										
			免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する	○	△	2										
			/	/	/	/	/	/	/	/	/									
			/	/	/	/	/	/	/	/	/									
			協議承認日以前に作業を行ってしまう	△	×	4	作業日と協議日を照合し、確認を行う	○	○	1										
			小型移動式クレーン及び高所作業車作業手順書に則る																	
			電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1										
車両確認 作業車両準備 作業車両点検 出発準備		 セーフティーバイブル 25.車両回送手順書に則る																		
本作業 出発 規制内進入 車両移動 停止 逸走防止																				
使用機器等	車両から必要機械を降ろす											①手袋などを着用して ②手・指が挟まれて気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2
準備工	清掃道具でシート設置先の伸縮装置、及び路面の清掃を行う											①車線側への飛散に十分気を付けて ②車線側では必ず飛散防止ネットを使用して	掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1
													飛散防止ネットが強風により倒れ接触を起こす	△	△	3	①飛散防止ネットの四隅にウェイト(30kg程度)を設置する ②作業車両または遮音壁、Gr等構造物にロープで2点固定する(ロープ固定が難しい場合は人力2人以上にて押さえる)	○	○	1
プライマー塗布	プライマーを塗布する(養生4時間以上)	塗布面に均一に	プライマー揮発物を吸引し、被災する	△	×	4	保護マスク・メガネを着用して作業を行う	○	○	1										
シール貼設工	伸縮装置の遊間を覆うように防水シールを貼り付ける	シール間に空気が入らないように	/	/	/	/	/	/	/	/										
シート貼設工	シールの上からシートを敷設する	シートにしわが寄らないように	/	/	/	/	/	/	/	/										
片付け	発生材や道具を片付ける	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、全体の動きを指示しながら片付けを行う	○	○	1										
	清掃道具で場内清掃を行う	車線側への飛散に十分気を付けて	掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1										
	場内状況及び清掃状況を確認する	使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	/	/	/	/	/	/	/	/										
現場離脱	25.車両回送手順書に則る																			
帰着・駐車	25.車両回送手順書に則る																			
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/										
1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。																			
特記事項	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1									